

令和5年度岩手県アドプト活動モデル賞選考委員会 会議結果の要旨

1 委員長の選定

委員の互選により、東梅委員を本委員会の委員長に選任した。

2 議事【資料1】

事務局から令和5年度岩手県アドプトモデル賞の選定について説明を行った。

- 評価項目の「4 他の活動組織の模範となるモデル的な取組」について、若者はどういった年齢を想定しているのか。また、特徴的な取組はどのようなものが該当するのか。(佐藤正彦委員)
 - 若者は国の調査等を参考に39歳以下としている。また、特徴的な取組としては、草刈り以外に希少野生動植物の保全活動に取り組んでいることや、活動計画の確認のために総会を開催している等、他の模範となる取組を評価している。(事務局)
- 継続年数が16年と非常に長いこと、継続年数が長いにも関わらず高い参加率を維持していること、農業用の幹線排水路の草刈りや清掃活動に非農家の方が多く参加していることから、素晴らしい活動であると思う。(及川一紀委員)
- 花巻市の役割分担で、機械の貸し出しとあるが、どんな機械の貸し出しを行っているのか。(及川敦委員)
 - 必要に応じて草刈機の貸し出しを行っているとのこと。(事務局)
- 問題なく活動を実施していることや、御意見いただいたとおり優良な活動であると考えられることから、事務局の案のとおり姥宿自治会を令和5年度岩手県アドプト活動モデル賞として選定してよろしいか。(東梅克美委員長)
 - 異議なし。(委員)
 - 異議が無いようなので、姥宿自治会を令和5年度岩手県アドプト活動モデル賞として選定する。(東梅総括課長)

以上により、令和5年度岩手県アドプト活動モデル賞を選定した。

3 その他【参考資料】

答申の内容の確認を行い、委員から了承を得た。